



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社エスユーエス 上場取引所 東
 コード番号 6554 URL <https://www.sus-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 公男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼最高財務責任者 (氏名) 浅田 剛史 (TEL) 075-229-7400
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	3,054	11.0	206	△10.1	228	△3.7	154	△1.6
2023年9月期第1四半期	2,752	8.8	229	26.8	237	12.8	157	10.3

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 151百万円(△3.8%) 2023年9月期第1四半期 157百万円(19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	17.36	16.98
2023年9月期第1四半期	17.77	17.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,768	3,240	67.5
2023年9月期	5,008	3,311	65.6

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 3,219百万円 2023年9月期 3,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,065	7.6	423	△16.3	454	△13.0	288	△16.9	32.90
通期	12,900	12.2	800	31.7	831	33.3	548	18.7	62.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年9月期1Q	9,037,200株	2023年9月期	9,020,800株
2024年9月期1Q	100,184株	2023年9月期	100,184株
2024年9月期1Q	8,927,683株	2023年9月期1Q	8,866,616株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アフターコロナにおいて景気が緩やかに回復しているものの、円安の進行やウクライナ・イスラエル情勢などの地政学リスクの高まり等による原油価格や原材料価格の高騰、インフレに対する金融引き締め等による景気の下振れリスクもあり、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社のソリューション事業においては、派遣業務、IT請負業務の受注が増加しました。さらに、コンサルティング事業、AR/VR事業においても売上高が増加しました。一方で、IT請負の受注増加に対して製造請負の受注が減少し、利益率の高い請負業務の売上高が減少したこと等により、売上総利益率が低下しました。また、エンジニアの積極採用や営業強化等による人件費の増加、移転した東京オフィスのコストを中心に販売費及び一般管理費が増加しました。営業外損益では、AR/VR専門家育成プログラムを用いた研修に対する人材開発支援助成金の受給等により助成金収入が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,054百万円（対前年同期比11.0%増）、営業利益206百万円（対前年同期比10.1%減）、経常利益228百万円（対前年同期比3.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益154百万円（対前年同期比1.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ソリューション事業

派遣業務は、主要取引先である国内製造業及びIT関連企業におきまして、慢性的な技術者不足の状況は変わらず、技術者需要が堅調に推移しました。このような状況の中、継続的にエンジニアの教育等による高付加価値化に取り組み、派遣単価が上昇しました。さらに、継続的なIT分野の強化に取り組み、IT分野の売上高及び売上構成比がともに増加しました。エンジニア数につきましては、採用を強化したこと等により在籍エンジニア数が増加し、稼働人数が増加しました。

請負業務は、IT請負においてリーダー人材の育成に注力し、プロジェクト単位及びチームでの受注体制を強化した結果、新規取引及び既存取引の受注が堅調に推移しました。一方で、製造請負において半導体関連顧客で発生した部品供給不足等により取引が減少しました。下期より回復を見込んでいるものの、当第1四半期連結累計期間の売上高は減少しました。

利益面においては、IT請負の受注増加に対して製造請負の受注減少により、利益率の高い請負業務の売上高が減少したことに加え、エンジニアの積極採用や営業強化等による人件費の増加、2023年8月に移転した東京オフィスの賃借料及び減価償却費の増加を中心に販売費及び一般管理費が増加しました。

これらの結果、ソリューション事業の売上高は2,736百万円（対前年同期比9.0%増）、セグメント利益は196百万円（対前年同期比15.6%減）となり、2023年12月末時点の在籍エンジニア数は1,706人となりました。

② コンサルティング事業

ITコンサルティングサービス市場は、SAPをはじめとした既存の大規模基幹システムにおいてIT基盤の統合・再構築に関連する需要が高まっており、当社が携わるクラウド系基幹システムであるSAP S/4 HANA及びSAP以外のERPの導入案件が増加傾向となりました。このような市場のニーズに対応するため、自社ITコンサルタントに加えて協力会社の外注要員を活用し、各モジュール別チームの体制を整えました。さらに、需要が高い首都圏においては、より上位工程であるコンサルティング領域の案件へリソースを集中し、売上拡大に努めてまいりました。一方で、導入案件における外注費の増加や、新入社員を中心に自社ITコンサルタントの育成に注力したこと等により、利益率が減少しました。その結果、ITコンサルティングは前年同期比で増収減益となりました。

これらの結果、コンサルティング事業の売上高は218百万円（対前年同期比20.2%増）、セグメント利益は18百万円（対前年同期比28.0%減）となりました。

③ AR/VR事業

AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、MR（複合現実）、メタバース、AI（人工知能）等の最先端IT市場におきましては、多種多様な商品及びサービスが需給ともに増加しており、その成長性が期待されております。このような状況の

中、当社は大型展示会への出展やニュースリリース、ダイレクトメール配信等の発信型の営業活動を組み合わせて行い、アフターコロナにおいても、特にAR、VR、MRにニーズを持つ企業様からの引き合いが増加しております。

当第1四半期連結累計期間においては、産業向けのAR/VRアプリ開発、AIを活用した業務自動化システムの開発、メタバース空間の開発、教育機関向けの360° VRツアー等の受注を獲得しました。また、子会社である株式会社クロスリアリティが提供するAR/VR専門家育成プログラムにおいては、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金や人材開発支援助成金を活用した受講が可能となっており、本プログラムの利用により当社のエンジニア教育に貢献したことに加え、外部受講生の獲得も推進しました。

これらの結果、AR/VR事業の売上高は82百万円（対前年同期比106.2%増）、セグメント損失は5百万円（前年同期は26百万円の損失）となりました。

④ その他

障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく特例子会社である株式会社ストーンフリーの売上高は、就労移行支援事業の利用者が減少したこと等により、前年同期比で減少しました。また、再生医療導入支援事業を行うプライムロード株式会社は、再生医療コンサルティングサービスの受注が減少しました。

これらの結果、売上高は17百万円（対前年同期比12.3%減）、セグメント損失は3百万円（前年同期は3百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は4,768百万円となり、前連結会計年度末より240百万円の減少となりました。流動資産合計は4,062百万円となり、前連結会計年度末より171百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金が177百万円減少したことによるものであります。固定資産合計は705百万円となり、前連結会計年度末より69百万円の減少となりました。これは主に繰延税金資産を含む投資その他の資産が76百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,527百万円となり、前連結会計年度末より169百万円の減少となりました。流動負債合計は1,496百万円となり、前連結会計年度末より169百万円の減少となりました。これは主に未払金が97百万円増加、未払消費税等を含むその他流動負債が117百万円増加した一方で、賞与引当金が357百万円減少したことによるものであります。固定負債合計は前連結会計年度末とほぼ同額の30百万円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,240百万円となり、前連結会計年度末より70百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上の一方、配当の実施により、利益剰余金が68百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,615	2,438
売掛金	1,516	1,487
仕掛品	6	45
その他	95	91
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,233	4,062
固定資産		
有形固定資産	354	344
無形固定資産	74	91
投資その他の資産	345	269
固定資産合計	775	705
資産合計	5,008	4,768
負債の部		
流動負債		
未払金	932	1,030
未払法人税等	37	9
賞与引当金	357	-
その他	338	456
流動負債合計	1,666	1,496
固定負債		
資産除去債務	23	23
その他	7	7
固定負債合計	31	30
負債合計	1,697	1,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	435	436
資本剰余金	531	531
利益剰余金	2,403	2,335
自己株式	△83	△83
株主資本合計	3,286	3,219
非支配株主持分	24	21
純資産合計	3,311	3,240
負債純資産合計	5,008	4,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,752	3,054
売上原価	1,976	2,227
売上総利益	776	827
販売費及び一般管理費	547	621
営業利益	229	206
営業外収益		
受取利息	0	-
助成金収入	8	21
その他	0	0
営業外収益合計	8	22
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	237	228
税金等調整前四半期純利益	237	228
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	78	75
法人税等合計	80	77
四半期純利益	157	151
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	157	154

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	157	151
四半期包括利益	157	151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157	154
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリュー ション 事業	コンサル ティング 事業	AR/VR事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,510	182	39	2,732	20	2,752
計	2,510	182	39	2,732	20	2,752
セグメント利益又は損失(△)	233	25	△26	232	△3	229

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソリュー ション 事業	コンサル ティング 事業	AR/VR事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,736	218	82	3,037	17	3,054
計	2,736	218	82	3,037	17	3,054
セグメント利益又は損失(△)	196	18	△5	210	△3	206

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。